

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

広島県江田島市

2 構造改革特別区域の名称

江田島市にこにこ給食特区

3 構造改革特別区域の範囲

江田島市の全域

4 構造改革特別区域の特性

江田島市は、平成16年11月1日に江田島町、能美町、沖美町、大柿町の4町が合併して誕生した。

広島県南西の広島湾に浮かぶ江田島、能美島とその周辺に点在する島々で構成され、広島市からは海上約7.5km、呉市からは海上約6kmの位置にあり、呉市とは音戸大橋、早瀬大橋の両架橋により主要地方道江田島大柿線等で結ばれ、陸続きとなっている。

総面積は100.94km²で、野登呂山（標高542.0m）、陀峰山（標高438.0m）、砲台山（標高401.8m）、クマン岳（標高399.8m）、古鷹山（標高384.0m）などの山間地帯や山麓付近の丘陵地が多く、面積を占めており、変化に富んだ海岸線や平地などの島特有の地形となっている。

本市の人口は、平成17年の国勢調査では29,939人（老年人口31.7%）であり、平成12年の同調査の32,278人と比較し2,339人（7.2%）減少し、少子高齢化が急激に進んでいる。

平成16年11月の合併当初には、15公立保育所、1幼稚園を開設していたが、平成18年3月に2公立保育所、平成19年3月に1公立保育所を統廃合し、現在は12公立保育所、1幼稚園となり、544人の児童が入園している。

平成21年3月に入園児が20人未満の保育所を1カ所統廃合し、21年度から11公立保育所、1幼稚園となるが、今後も本市の子育て支援の充実や効率的な保育所の運営、子どもの集団生活における健やかな成長を確保するため、全市的な視野に立ち、総合的に子育て支援環境の整備充実を図る必要がある。

殊に、本市では少子化は深刻な問題であり、市民・地域・事業者・行政が連携し、次世代育成支援に向けた事業を展開するため、平成17年3月に策定した「江田島市次世代育成支援行動計画」に基づき、子どもの健やかな成長と子

育て家庭を地域全体で支えあっていく「子育ての社会化」に焦点をあてた取り組みを着実に進めている。

また、平成19年3月に策定した「江田島市総合計画」で健康で安心して暮らせるまちづくりを目指し、乳幼児医療の助成の拡大（小学校3年生まで）、5歳児健診の実施、保育料第3子の無料化、一時保育の拡充、地域子育て支援センターの開設など総合的に子育て支援策を実施している。

5 構造改革特別区域計画の意義

本計画は、江田島保育園・小用保育園・切串保育園・宮ノ原保育園・鹿川保育園・中町保育園・高田保育園・三高保育園・大古保育園・柿浦保育園・飛渡瀬保育園の市内11の公立保育所へ、江田島学校給食共同調理場、西能美学校給食共同調理場及び大柿学校給食共同調理場で調理した給食を区域別に外部搬入するものである。

近年の少子化に伴い、本市内の保育所の入園数も年々減少しているが、地元商店経営者・生産者の高齢化等により、給食食材の少量発注や配達及び地元農産物の安定した調達が困難な状況にある。

このような状況の中で本特例措置を活用し、公立保育所において各学校給食共同調理場を活用した給食の外部搬入を実施することで、調理業務の効率化・合理化を進め、調理員の適正配置とともに経費節減を図る。また、厳しい財政状況、限られた財源の中で、食材の一元購入、集中調理などを行うことにより、発達段階に応じた全公立保育所共通の給食が提供できるとともに、保小中連携による、市全体で一貫した食育の推進、地元農水産物を取り入れた地産地消の給食食材の提供の推進を図る。

6 構造改革特別区域計画の目標

- ①子どもたちの食への関心を高め、正しい食習慣・食生活を推進する。
- ②保育所給食と学校給食との統一された食育の推進により福祉と教育との連携を図る。
- ③地元の農水産物を活用して、発達段階に応じた安全で安心な給食を提供する。
- ④地元の農水産物の活用により、地域・生産者・食材への関心を高め、地産地消を推進する。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

- ① 小規模保育所単位では非効率であった食材の発注・配送について、学校給食と合わせ、一元的に購入することにより、安定した食材の確保と経費の節

減が図られる。

- ②学校給食共同調理場で集中調理することにより、調理員の適正な配置と柔軟な体制が図られ、作業効率が向上し、光熱水費等の維持管理費や人件費をはじめとする経費の節減が図られる。
- ③学校共同調理場で食材等を一元的に発注することにより、地元で生産された農水産物の積極的な活用が図られ、地産地消が推進され、地域の活性化につながる。

8 特定事業の名称

920 公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業

- 9 構造改革特別区域において実施し、又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

「食を通じた子どもの健全育成の推進」

食育プログラムを作成し、年齢ごとに設定した目標を達成できるよう取り組みと同時に、保育士等職員の能力向上、食を通じた家庭・学校給食共同調理場・地域との連携により、食育への関心を高める。

別紙

1 特定事業の名称

920 公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

江田島市立江田島保育園、江田島市立小用保育園、江田島市立切串保育園、江田島市立宮ノ原保育園、江田島市立鹿川保育園、江田島市立中町保育園、江田島市立高田保育園、江田島市立三高保育園、江田島市立大古保育園、江田島市立柿浦保育園、江田島市立飛渡瀬保育園

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特別区域計画の認定日

4 特定事業の内容

江田島市の11公立保育所における給食を、江田島学校給食共同調理場・西能美学校給食共同調理場・大柿学校給食共同調理場からの外部搬入方式により実施する。外部搬入による給食は0歳児から実施する。

3カ所の学校給食共同調理場で集中調理した給食は、3台の給食専用の配送車により、各保育所に60分以内に配送することができ、調理後90分以内に喫食する。給食のメニュー内容により、温かい状態で提供されるものは専用の保温食缶へ入れ、その他については洗浄消毒された容器に移して搬送する。安全安心な給食実施のため、専用コンテナを利用し、衛生面に十分配慮し配送する。

また、夏休み等の学校休業中にあっても、保育所の給食業務については、学校給食共同調理場で対応し実施する。

土曜日は登園児童も少なく、3カ所の学校給食共同調理場が休止するため、保育所で準備したパン給食を実施する。

5 当該規制の特例措置の内容

(1) 調理室として保存、配膳のために必要な調理機能を有する設備を設けることについて

搬出元である各学校給食共同調理場及び搬入先の各保育所の調理設備は、以下のとおりである。

各学校給食共同調理場は各公立保育所に給食を外部搬入するための十分な機能を有している。給食調理設備、栄養士、調理員等の人的環境の整った調理場では、児童の発育に応じた味付け・固さ・大きさ等を配慮・工夫したきめ細やかな献立、調理業務を行うことができ、あわせて、集中調理により効率的な調理業務を行うことができる。

各保育所には専用の調理室があり、加熱設備機器として電子レンジ、ガステーブル、冷凍冷蔵庫、温蔵庫、配膳台等を備えているため、再加熱や冷蔵が可能であり、適温な給食が提供できる。

搬入元①「江田島市立江田島学校給食共同調理場の概要」

面 積	5 0 2 m ²
職員配置数	栄養職員 1 名 場長 1 名 調理員 1 名 臨時調理員 1 2 名 運転手 1 名
調理能力 (1 日)	1, 5 0 0 食
調理器具一覧	球根皮むき機、電動式缶切機、生ゴミ処理機、高速度ミキサー、真空冷却機、オゾン洗浄機、りんご調理器、パススルー冷蔵庫、台下冷蔵庫、スポットクーラー、プレート殺菌庫、電磁調理器、冷蔵庫、冷凍・冷蔵庫

搬入元②「江田島市立西能美学校給食共同調理場の概要」

面 積	6 5 2 m ²
職員配置数	栄養職員 1 名 場長 1 名 調理員 2 名 臨時調理員 1 2 名 運転手 2 名 (業者委託)
調理能力 (1 日)	1, 2 0 0 食
調理器具一覧	球根皮むき機、冷凍庫、パススルー冷蔵庫、器具消毒保管庫、包丁まな板殺菌庫、野菜裁断機、みじん切り機、器具消毒保管庫、揚物機、スチームコンベクションオーブン、ガス回転釜、洗米機、食管消毒保管庫、オゾン水生成装置、電磁調理器、冷蔵庫、電動缶切機、真空冷却機、冷凍庫、回転釜、高速度ミキサー、脱水機、高圧洗浄機、浸漬槽、食管洗浄機、超音波洗浄機、消毒保管庫、食管消毒保管庫、トラックイン食管消毒保管庫、エアシャワー、冷凍冷蔵庫、立型炊飯器、包丁まな板殺菌庫、マイコンスライサー

搬入元③「江田島市立大柿学校給食共同調理場の概要」

面 積	5 2 5 m ²
職員配置数	栄養職員 1 名 場長 1 名 調理員 1 名 臨時調理員 1 1 名 運転手 2 名 (業者委託)
調理能力 (1 日)	1, 3 0 0 食
調理器具一覧	マイコンスライサー、食器消毒保管庫、電気式食器消毒保管庫、自動食管洗浄機、回転釜、球根皮むき機、合成調理機、コンベクションスチーマー、自動食器洗浄機、自動手指消毒器、スポットクーラー、電気式食器消毒保管庫、電気式缶切機、トロリー、フードカッター、プレハブ冷蔵庫、包丁・まな板殺菌庫、

	丸型フライヤー、オゾン殺菌装置、真空食品冷却機、牛乳冷蔵庫、野菜脱水機、高速ミキサー、スタッキングカート、冷凍チルド冷蔵庫、冷凍庫
--	---

搬入先「江田島市立保育所調理室の概要」

搬入元	保育所名	調理室面積	調理室の設備
江田島学校給食共同調理場	江田島保育園	6.36 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台2口、配膳台2台
	小用保育園	24.79 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台2口、配膳台4台
	切串保育園	12.201 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台4口、配膳台2台
	宮ノ原保育園	12.25 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ2台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台2口、配膳台2台
西能美学校給食共同調理場	鹿川保育園	50.96 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫2台、ガス台5口、配膳台5台
	中町保育園	68.63 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫2台、ガス台4口、配膳台2台
	高田保育園	50.95 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫2台、ガス台4口、配膳台4台
	三高保育園	25.62 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷蔵庫1台、冷凍庫1台、ガス台3口、配膳台5台
大柿学校給食共同調理場	大古保育園	22.86 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷蔵庫1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台3口、配膳台2台
	柿浦保育園	13.77 m ²	温蔵庫1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台2口、配膳台1台
	飛渡瀬保育園	16 m ²	温蔵庫1台、電子レンジ1台、冷凍冷蔵庫1台、ガス台2口、配膳台2台

(2) 児童の給食の内容、回数、時期に適切に応じることについて

外部搬入により提供される給食の内容は、あらかじめ栄養士によって作成した献立に基づき、年齢に応じた分量、大きさ、固さ等について配慮する。食物アレルギーのある児童については、主治医の指示に従い保護者・学校給食共同調理場・保育所が連携し、個別対応をする。体調不良児についても、保育所で児童の体調を把握し、主治医などに相談し、配慮しながら給食を提供する。

(3) 外部搬入を行う場合の衛生基準の遵守について

「構造改革特別区域における『公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業』について（平成20年4月1日付雇児発第0401002号）」の留意事項を遵守するとともに、社会福祉施設において外部搬入を行う場合の衛生基準

「保護施設等における調理業務の委託について（昭和62年3月9日社施第38号）」において準拠されている「病院、診療所等の業務委託について（平成5年2月15日指第14号）」の第4の2の規定及び「保育所における調理業務の委託について（平成10年2月18日児発第86号）」を遵守する。

なお、特例措置による給食の外部搬入については、搬入元と搬入先との間で委託契約の締結が求められているが、本市の場合は3カ所の市立学校給食共同調理場から各市立保育所への搬入であることから、契約行為に馴染まないため、教育長と市長の間で覚書を締結する。

(4) 必要な栄養素量を給与すること、また、食を通じた子どもの健全育成（食育）を図る観点から、食育プログラムに基づき食事を提供するよう努めることについて

児童福祉施設における、年齢・性別栄養所要量を基に作られた「保育所における栄養給与目標算出例」を参照して食品構成を策定し、それに基づいて必要な栄養素量の確保に努める。

また、食育プログラムによって給食を提供するとともに、共同調理場栄養士と保育士が連携を密にして、地域性や季節感のある献立を策定する。

6 給食配送スケジュール

「江田島市立江田島学校給食共同調理場」

調理開始 AM 8:00

保育園分調理完了 AM10:10

配送出発 → 江田島保育園 → 宮ノ原保育園 → 切串保育園
(AM10:15) (AM10:22) (AM10:39) (AM11:00)
→ 小用保育園
(AM11:15)

「江田島市立西能美学校給食共同調理場」

調理開始 AM 8:00

保育園分調理完了 AM10:30

配送出発① → 高田保育園 → 中町保育園 → 鹿川保育園
(AM10:40) (AM10:50) (AM10:55) (AM11:05)

配送出発② → 三高保育園
(AM10:50) (AM11:05)

「江田島市立大柿学校給食共同調理場」

調理開始 AM 8:00

保育園分調理完了 AM10:30

配送出発 → 大古保育園 → 飛渡瀬保育園 → 柿浦保育園
(AM10:40) (AM10:45) (AM11:17) (AM11:28)